

『なぜ弁護士は訴えられるのか』

目次

第1部 現代社会と弁護士
をめぐる概況

第1章	弁護士がおかれている現況	2
	はじめに	2
1	最近の弁護士をめぐる環境	4
	(1) 弁護士をめぐる最近の状況と需要の変化	4
	(2) 弁護士間の競争激化に対する対応	5
2	弁護士のリスクの基盤	6
	(1) 依頼者の認識・期待との齟齬	6
	(2) クレーム・苦情の増加	7
3	弁護士の報酬をめぐる紛争	7
	(1) 弁護士の報酬をめぐる主な裁判例	7
	【法律雑誌に掲載された主な裁判例】〔昭和年代〕〔平成年代〕.....	8
	(2) 報酬をめぐる近時の動向	10
4	弁護士とコンプライアンス	12
	(1) 弁護士業務における法令遵守	12
	(2) 弁護士法違反	13
	(3) 弁護士の倫理違反	14
5	弁護士法と弁護士	15

(1) 弁護士法の概要	15
(2) 様々な勧誘への対応	17
6 弁護士と依頼者等との委任契約	18
(1) 委任契約書作成の重要性	18
(2) 委任契約に関する規定の取扱い	20
7 弁護士の事件の受任、相談のきっかけとクレーム	21
(1) 受任、相談のきっかけ	21
(2) 紹介者がある場合の注意点	22
(3) クレームの発生	23
8 弁護士の事件の受任、相談とクレーム対策	25
(1) 受任の際における考慮	25
(2) クレーム対策の重要性	26
(3) 依頼者への説明	27
(4) 新たなクレームの種類と対応	28
9 弁護士の広告宣伝	30
10 事件の受任の検討	32
(1) 受任を検討するにあたっての留意点	32
(2) トラブルを防止するための方策	34
11 弁護士の説明義務	36
12 弁護士の紛議の解決と保険	38
(1) 弁護士と依頼者等との紛争	38
(2) 弁護士賠償責任保険	40

13	弁護士の懲戒	40
(1)	懲戒請求	40
(2)	弁護士会による懲戒	41
(3)	日本弁護士連合会による懲戒	42
14	競争下の弁護士、法律事務所	44
(1)	弁護士の増加と業務の減少	44
(2)	弁護士の将来性	45
第2章	弁護士の事件処理をめぐる諸問題	47
1	弁護士の研鑽の重要性と新人弁護士の研鑽	47
(1)	新人弁護士がおかれている現状	47
(2)	経験、研鑽の重要性	48
(3)	法曹養成制度の現状	50
(4)	実地教育・訓練の重要性	51
2	高齢社会における弁護士	52
(1)	依頼者である高齢者を取りまく法律問題	52
(2)	遺言における弁護士の関与のあり方	54
3	弁護士の事務処理の基本	55
(1)	法律の適用の論理の重要性	55
(2)	事実関係の調査の重要性	56
4	弁護士の守秘義務、プライバシーの保護義務	57
(1)	弁護士の守秘義務	57
(2)	訴訟活動とプライバシーの侵害	58
(3)	弁護士職務基本規程による秘密の保持義務の拡大	59

5	弁原紛争、弁原事件	60
(1)	事務処理によって発生する新たな紛争	60
(2)	弁原紛争（事件）の態様	62
(3)	説明不足・事務処理懈怠が起因となる紛争	63
6	弁護士のストレスとストレス対策	64
(1)	弁護士が抱えるストレス	64
(2)	ストレスの原因	65
(3)	弁護士のメンタルヘルス	67
(4)	ストレス解消の重要性	68
(5)	ストレスが事務処理に及ぼす悪影響	69
(6)	ストレス対策の方法	70
(7)	パワー・ハラスメント問題	71
(8)	ストレスチェック制度の活用	72
7	弁護士の品位・品格	73
(1)	社会人・職業人・教養人としての品位・品格の研鑽	73
(2)	品位・品格の維持・確保の現状	74
8	法律事務所の経営	75
(1)	規模・構成による分類	75
(2)	人的設備と物的設備	76
(3)	経営基盤の安定の重要性	77
(4)	契約管理の重要性	78
9	共同法律事務所の経営と経営弁護士らの責任	79
(1)	共同法律事務所の形態	79
(2)	多様化する弁護士の勤務形態	82
(3)	法律事務所内の紛争	83

(4) 法律事務所内の金銭問題	84
(5) 弁護士間の人間関係・信頼関係が重要な基盤	85
(6) 法律事務所の経営実態	87
(7) 共同法律事務所・弁護士法人における規律の遵守	88
(8) 事務処理上の過誤が発生した場合の責任の所在	91
10 <u>弁護士のヒヤリ、ハット</u>	94
11 <u>弁護士の過誤への対応</u>	96
(1) 過誤対応の基本	96
(2) 過誤の防止と心得	97
12 <u>コンピュータ社会における弁護士</u>	99
(1) 手書きからパソコンへ	99
(2) 新たなトラブルの発生	101
(3) 法律事務所の IT 化	103
13 <u>弁護士と日本語力</u>	104
(1) 日本語力の向上が重要	104
(2) 書類作成上の留意点	106
14 <u>弁護士の論理構成力</u>	108
15 <u>法律事務所の将来</u>	110

第2部 弁護士の責任をめぐる 裁判例

第1章 昭和年代の裁判例 114

1 昭和40年代の裁判例

- 判決1 債権回収につき委任契約上の債務不履行を認めた事例〔東京地判昭和40・4・17判タ178号150頁〕 114
- 判決2 訴訟活動上の名誉毀損を認めた事例〔千葉地館山支判昭和43・1・25判時529号65頁〕 116
- 判決3 控訴につき不法行為を認めた事例〔東京地判昭和46・6・29判時645号89頁〕 118
- 判決4 仮差押えの執行につき不法行為を認めなかった事例〔東京地判昭和49・3・13判時747号75頁〕 122
- 判決5 債権の回収につき委任契約上の債務不履行を認めた事例〔東京地判昭和49・3・25判時753号36頁〕 123
- 判決6 訴訟の追行につき委任契約上の債務不履行を認めた事例〔東京地判昭和49・8・28判時760号76頁〕 125
- 判決7 控訴につき不法行為を認めた事例〔東京地判昭和49・12・19判時779号89頁〕 126

2 昭和50年代の裁判例

- 判決1 訴訟の追行等につき債務不履行を認めた事例〔東京地判昭和52・9・28判時886号71頁〕 130
- 判決2 訴訟の追行につき債務不履行を認めた事例〔東京地判昭和54・5・30判タ394号93頁〕 131
- 判決3 訴訟の追行につき、損害との因果関係を否定し、不法行為を認めなかった事例〔東京地判昭和54・11・13判時657号63頁、

	判タ409号126頁] ……………	133
判決4	法律相談に係る債務不履行、不法行為を認めなかった事例 〔東京地判昭和57・5・10判時1064号69頁、判タ485号128頁〕 ……	135
判決5	仮処分の申請の説明につき職務違反を認めなかった事例〔高 知地判昭和58・4・14判タ530号208頁〕 ……………	139
判決6	債権の回収につき債務不履行を認めなかった事例〔大阪地判 昭和58・9・26判時1138号106頁、判タ533号185頁〕 ……………	141

3 昭和60年代の裁判例

判決1	控訴につき、損害との因果関係を否定し、債務不履行等を認 めなかった事例〔横浜地判昭和60・1・23判時1181号119頁、 判タ552号187頁〕 ……………	146
判決2	競売につき債務不履行を認めなかった事例〔京都地判昭和60 ・2・28判時1166号127頁、判タ554号270頁〕 ……………	149
判決3	不動産取引の立会いにつき不法行為を認めなかった事例〔東 京地判昭和60・9・25判タ599号43頁〕 ……………	151
判決4	遺言書作成、遺言執行につき債務不履行を認めた事例〔東京地 判昭和61・1・28判タ623号129頁〕 ……………	154
判決5	不動産取引につき不法行為を認めた事例〔東京地判昭和62・ 10・15判タ658号149頁〕 ……………	157

第2章 平成年代の裁判例 …………… 160

1 依頼者との関係における弁護過誤をめぐる裁判例

判決1	和解をした弁護士との過誤を認めなかった事例〔東京地判平成 2・3・2判時1364号60頁〕 ……………	160
判決2	和解をした弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔千 葉地松戸支判平成2・8・23判タ784号231頁〕 ……………	162
判決3	債権回収のための訴訟提起を受任した弁護士の債務不履行責 任を認めなかった事例〔福岡地判平成2・11・9判時1379	

号119頁]	165
判決4 損害賠償請求を受任した弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成2・12・20判タ758号209頁〕	169
判決5 債務整理を受任した弁護士の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成4・1・31判時1435号75頁〕	171
判決6 訴訟追行を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成4・4・28判時1469号106頁、判タ811号156頁〕	175
判決7 法律相談、仮処分申請を受任した弁護士の債務不履行責任等を認めた事例〔大阪地判平成5・9・27判時1484号96頁、判タ831号138頁〕	179
判決8 訴訟上の和解をした弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔東京地判平成6・8・25判タ894号216頁〕	187
判決9 上告を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成6・11・21判タ881号191頁〕	188
判決10 訴訟上の和解をした弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成7・2・22判時1554号85頁、判タ905号197頁〕	191
判決11 法律相談で助言をした弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔広島地判平成7・7・17判時1564号98頁、判タ895号153頁〕	193
判決12 訴訟提起を受任した弁護士の注意義務違反を認めたものの、損害の発生を否定し、債務不履行責任等を認めなかった事例〔東京地判平成7・8・25判タ911号125頁〕	198
判決13 建物の賃借人から明渡請求事件を受任した弁護士の事務処理、訴訟上の和解に係る債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成8・4・15判時1583号75頁〕	200
判決14 損害の発生を否定し、弁護士の債務不履行を認めなかった事例〔千葉地判平成8・6・17判時1620号111頁〕	202
判決15 上告を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔千葉地判平成9・2・24判タ960号192頁〕	206
判決16 裁判上の和解をした弁護士の債務不履行責任等を認めなかつ	

目 次

	た事例〔東京地判平成10・2・5判タ1008号178頁〕……………	211
判決17	弁護士の委任事務処理上の受取金の返還拒否につき不法行為 責任を認めた事例〔大阪地判平成10・2・27判時1660号86頁〕 ……………	212
判決18	訴訟追行を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった 事例〔東京地判平成10・3・18判タ1013号170頁〕……………	215
判決19	株券の信託を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例 〔東京地判平成10・3・18判タ1029号288頁〕……………	217
判決20	弁護士の依頼者による委任契約解除後の原状回復責任を認め た事例〔東京地判平成10・11・13判タ1039号157頁〕……………	219
判決21	刑事事件の国選弁護人を受任した弁護士の不法行為責任を認 めなかった事例〔東京地判平成11・1・26判タ1041号220頁〕…	221
判決22	上告を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔大阪 地判平成11・2・15判時1688号148頁〕……………	223
判決23	訴訟追行、相続放棄の申述を受任した弁護士の債務不履行責 任を認めた事例〔福岡高判平成11・8・10判時1714号87頁〕…	226
判決24	訴訟で請求された権利と異なる、関連する権利につき弁護士 の和解権限を認めた事例〔最二小判平成12・3・24民集54 巻3号1126頁、判時1708号110頁、判タ1027号101頁〕……………	230
判決25	相続問題の処理を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた 事例〔高松地判平成12・7・14判時1769号79頁〕……………	231
判決26	相続問題の処理を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた 事例〔高松高判平成12・12・14判時1769号76頁〕……………	234
判決27	債権回収を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった 事例〔東京地判平成12・12・26判タ1069号286頁〕……………	235
判決28	債権回収を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例 〔大阪地判平成13・1・26判時1751号116頁〕……………	238
判決29	遺産分割を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった 事例〔東京地判平成14・1・28判タ1107号233頁、金判1158 号45頁〕……………	242

判決30	遺産をめぐる紛争に関与した弁護士の本務不履行責任を認めなかった事例〔東京地判平成15・12・1判タ1153号161頁〕	245
判決31	債務処理等を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔東京地判平成16・4・27判タ1187号241頁〕.....	247
判決32	債務整理を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成16・7・9判時1878号103頁〕.....	250
判決33	事故調査、損害賠償請求を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成16・10・27判時1891号80頁、判タ1211号113頁〕.....	253
判決34	訴訟追行を受任した弁護士の債務不履行責任を認め、依頼者の弁護士に対する不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成17・3・23判時1912号30頁〕.....	255
判決35	刑事事件を受任した弁護士の債務不履行責任等を認めなかった事例〔大阪地判平成17・10・14判時1930号122頁〕.....	260
判決36	会社と取締役間に紛争が生じている状況において、取締役の質問に応じた弁護士の会社に対する不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成17・11・14判タ1203号201頁〕.....	262
判決37	預り金の支出、精算に係る弁護士の債務不履行責任等を認めず、預り金の一部返還拒否に係る弁護士の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成18・11・21判タ1246号210頁〕.....	264
判決38	訴訟追行を受任したボス弁、イソ弁の義務違反を認めたものの、損害の発生を否定し、債務不履行責任を認めなかった事例〔大阪地判平成18・12・8判時1972号103頁〕.....	267
判決39	訴訟追行を受任した弁護士が違法に入手された可能性の高い証拠を提出したことによる債務不履行責任を認めた事例〔福岡地判平成19・3・1判タ1256号132頁〕.....	272
判決40	顧問先から補助金の保管を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔大阪地判平成20・5・14判タ1287号185頁〕.....	274

目 次

判決41	弁護士の報酬に関する説明義務違反を認めなかったが、報酬合意の公序良俗違反による一部無効を認めた事例〔東京地判平成20・6・19判タ1314号256頁〕……………	277
判決42	訴訟追行を受任した弁護士の提起遅延の債務不履行責任を認め、事務処理内容の債務不履行責任等を認めなかった事例〔東京地判平成21・3・25判タ1307号174頁〕……………	278
判決43	債務整理を受任した弁護士の受任時の説明義務違反を認めなかったが、辞任時の説明義務違反を認めた事例〔鹿児島地名瀬支判平成21・10・30判時2059号86頁〕……………	282
判決44	第三者の紹介により訴訟追行を受任した弁護士が解任された後、紹介者に解任の事情を説明したことによる守秘義務違反の不法行為責任を認めた事例〔大阪地判平成21・12・4判時2105号44頁〕……………	285
判決45	債権回収を共同受任した弁護士の回収方法の選択に関する債務不履行責任を認めなかった事例〔東京地判平成22・1・27判タ1328号126頁〕……………	288
判決46	債務整理を受任した弁護士の事務処理内容の説明義務違反を認めた事例〔鹿児島地名瀬支判平成22・3・23判時2075号79頁〕……………	292
判決47	第三者の紹介により訴訟追行を受任した弁護士が解任された後、紹介者に解任の事情を説明したことによる守秘義務違反の不法行為責任を認めた事例〔大阪高判平成22・5・28判時2131号66頁〕……………	295
判決48	刑事事件を受任した弁護士の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成22・12・17判タ1355号169頁〕……………	296
判決49	債務整理を受任した弁護士の説明義務違反を認めなかった事例〔福岡高宮崎支判平成22・12・22判時2100号50頁〕……………	300
判決50	債務整理を受任した弁護士の事務処理内容の説明義務違反を認めなかった事例〔福岡高宮崎支判平成22・12・22判時2100号58頁〕……………	302

判決51	債務整理を受任した弁護士法人・弁護士の辞任につき債務不履行にあたるが、損害の発生がないとし、責任を認めず、書面の送付につき名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地立川支判平成23・4・25判時2117号28頁〕……………	305
判決52	債務整理を受任した弁護士の事務処理上のリスクに関する説明義務違反を認めた事例〔鹿児島地名瀬支判平成23・8・18金判1418号21頁〕……………	308
判決53	債務整理を受任した弁護士の事務処理上のリスクに関する説明義務違反を認めなかった事例〔福岡高宮崎支判平成23・12・21金判1418号17頁〕……………	312
判決54	遺言に係る訴訟追行を受任した弁護士の遺産調査義務違反、和解案の説明義務違反を認めなかった事例〔東京地判平成24・2・10判タ1404号156頁〕……………	314
判決55	保険金の請求を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔大阪地判平成24・9・13判時2174号120頁〕……………	317
判決56	相続問題、債務整理を受任した弁護士の債務整理、不動産の売却に係る債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成24・11・27判時2188号66頁〕……………	319
判決57	債権回収を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔東京地判平成25・3・28判時2238号32頁〕……………	322
判決58	債務整理を受任した弁護士の事務処理上のリスクに関する説明義務違反を認めた事例〔最三小判平成25・4・16民集67巻4号1049頁、判時2199号17頁〕……………	324
判決59	債務整理を受任した弁護士の債務不履行責任等を認めなかった事例〔東京地判平成25・6・18判時2203号78頁〕……………	326
判決60	債務整理を受任した弁護士の事務処理上のリスクに関する説明義務違反を認めた事例〔福岡高判平成25・10・3判時2210号60頁〕……………	328
判決61	債権回収を受任した弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔東京高判平成25・12・16判時2238号19頁〕……………	330

2 依頼者以外の者との関係における弁護過誤をめぐる裁判例

判決1	事件を受任し、報酬を受領した弁護士に対する依頼者の債権者による詐害行為取消権の行使を認めなかった事例〔東京高判平成2・8・29判時1364号38頁〕……………	333
判決2	請求異議訴訟の追行を受任した弁護士の訴訟追行等に係る不法行為責任を認めなかった事例〔京都地判平成3・4・23判タ760号284頁〕……………	334
判決3	請求異議訴訟の追行を受任した弁護士の訴訟追行等に係る不法行為責任を認めなかった事例〔大阪高判平成4・1・28判タ792号176頁〕……………	337
判決4	訴訟追行を受任した弁護士の仮執行宣言、仮執行免脱宣言付勝訴判決による強制執行に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成4・6・17判時1435号27頁〕……………	340
判決5	弁護士の訴訟提起、記者会見等に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成7・7・26判時1558号45頁〕……………	344
判決6	訴訟追行等を受任した弁護士の仮差押えの不当執行に係る不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成7・10・9判時1575号81頁〕……………	345
判決7	弁護士の交渉相手に対する書面送付等に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成7・10・31判タ922号268頁〕……	349
判決8	不動産売買の売主の代理人になった弁護士の買主に対する不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成7・11・9判タ921号272頁〕……………	351
判決9	弁護士の訴訟提起に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成8・2・23判時1578号90頁〕……………	354
判決10	仮差押えの申立て等を受任した弁護士の不当執行に係る不法行為責任を認めなかった事例〔大阪地判平成9・3・28判タ970号201頁〕……………	358
判決11	刑事事件を受任した弁護士の被害者との示談交渉等に係る不	

	法行為責任を認めた事例〔高松高判平成17・12・8判時1939号36頁〕……………	361
判決12	訴訟追行を受任した弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成18・9・25判タ1221号289頁〕……………	365
判決13	弁護士の行政書士に対する懲戒請求に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成19・6・25判時1989号42頁〕……	369
判決14	弁護士の依頼者の取引の相手方に対する不法行為責任を認めなかった事例〔名古屋地判平成20・4・9判時2060号91頁〕……	371
判決15	破産の申立てを受任した弁護士の破産管財人に対する不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成21・2・13判時2036号43頁〕……………	372
判決16	弁護士の依頼者の取引の相手方に対する不法行為責任を認めなかった事例〔名古屋高判平成21・3・19判時2060号81頁〕……	375
判決17	破産の申立てを受任した弁護士の破産管財人に対する不当利得返還責任を認めた事例〔大阪地判平成22・8・27判時2110号103頁〕……………	379
判決18	弁護士の依頼者の取引の相手方に対する不法行為責任を認めなかった事例〔大阪地判平成22・10・21判時2106号83頁〕……………	380
判決19	債務者から債務の弁済等の交渉を受任した弁護士の交渉の相手方に対する不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成22・12・2判タ1349号150頁〕……………	383
判決20	訴訟提起を募った弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔大阪地判平成23・5・13判時2127号64頁〕……………	385
判決21	債務整理を受任した弁護士の破産管財人に対する不法行為責任を認めた事例〔横浜地判平成23・12・22金判1442号37頁〕……	388
判決22	債務整理を受任した弁護士の破産管財人に対する不法行為責任を認めなかった事例〔東京高判平成24・8・30金判1442号26頁〕……………	392
判決23	破産の申立てを受任した弁護士の破産管財人に対する不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成25・2・6判時2177号72	

	頁]	395
判決24	破産の申立てを受任した弁護士の破産管財人に対する不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成26・4・17判時2230号8頁〕	398
判決25	債務整理、破産の申立てを受任した弁護士らの破産管財人に対する不法行為責任等を認めた事例〔東京地判平成26・8・22判時2242号96頁〕	401

③ 訴訟活動等に伴う名誉毀損等をめぐる裁判例

判決1	弁護士の答弁書の作成、提出等の訴訟活動に係る名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京高判平成元・3・22判タ718号132頁〕	405
判決2	仮処分申請事件を受任した弁護士らの興信所の作成に係る調査報告書を疎明資料として提出したことに係る名誉毀損の不法行為責任を認めた事例〔京都地判平成2・1・18判時1349号121頁、判タ723号151頁〕	409
判決3	訴訟追行を受任した弁護士の準備書面の作成、陳述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成5・7・8判時1479号53頁、判タ824号178頁〕	413
判決4	訴訟代理人である弁護士の相手方の訴訟代理人である弁護士に関する主張、供述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めた事例〔東京高判平成9・12・17判時1639号50頁、判タ1004号178頁〕	415
判決5	訴訟代理人である弁護士の相手方の訴訟代理人である弁護士に関する主張に係る名誉毀損等の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成9・12・25判タ1011号182頁〕	419
判決6	訴訟代理人である弁護士の相手方当事者に関する準備書面の作成、陳述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成9・12・26判タ1008号191頁〕	421
判決7	訴訟代理人である弁護士の相手方の訴訟代理人である弁護士	

	らに対する不法行為責任を認め、相手方の弁護士らの名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成10・2・27判タ1028号210頁〕……………	422
判決8	弁護士の準備書面の作成、陳述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成10・11・27判時1682号70頁〕……………	425
判決9	弁護士の仮処分申請事件における疎明資料の提出に係るプライバシー侵害の不法行為責任を認めた事例〔東京高判平成11・9・22判タ1037号195頁〕……………	428
判決10	訴訟追行等を受任した弁護士の相手方に対する準備書面等に係る名誉毀損の各不法行為責任を認めた事例〔水戸地判平成13・9・26判時1786号106頁〕……………	432
判決11	訴訟追行を受任した弁護士の準備書面の作成、陳述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成14・6・17判タ1114号190頁〕……………	436
判決12	訴訟代理人である弁護士の相手方の訴訟代理人である弁護士に対する準備書面等の作成、陳述に係る名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成16・8・23判時1865号92頁、判タ1179号261頁〕……………	440
判決13	訴訟追行を受任した弁護士の相手方に対する準備書面の作成等に係る名誉毀損の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成18・3・20判時1934号65頁、判タ1244号240頁〕……………	442
判決14	上告審の弁論における訴訟代理人である弁護士らの答弁書の作成、陳述による相手方の訴訟代理人である弁護士に対する名誉毀損の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成22・5・27判時2084号23頁〕……………	447
判決15	弁護士が元依頼者との間の訴訟において元依頼者の離婚原因等を主張・立証したことにつき、弁護士の名誉毀損、プライバシー侵害の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成24・1・30判タ1374号156頁〕……………	450

4 弁護士の付随業務等をめぐる裁判例

判決1	賃貸人の顧問弁護士の賃借人に対する家財搬出等の不法行為責任を認めた事例〔浦和地判平成6・4・22判タ874号231頁〕	452
判決2	破産管財人である弁護士らの不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成8・9・30判タ933号168頁〕	455
判決3	破産管財人である弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔東京高判平成9・5・29判タ981号164頁〕	457
判決4	禁治産者の後見人から事件を受任し、報酬を受領した弁護士の不当利得返還義務を認めた事例〔東京地判平成11・1・25判時1701号85頁〕	459
判決5	破産管財人である弁護士の管財業務上の不当利得返還義務を認めた事例〔横浜地判平成16・1・29判時1870号72頁〕	461
判決6	破産管財人である弁護士の管財業務上の不当利得返還義務の一部を認め、不法行為責任を認めなかった事例〔東京高判平成16・10・19判時1882号33頁〕	464
判決7	破産管財人である弁護士の管財業務上の不当利得返還義務を認めなかった事例〔東京高判平成16・10・27判時1882号39頁〕	467
判決8	禁治産者の後見人職務代行者である弁護士の債務不履行責任を認めなかった事例〔東京高判平成17・1・27判時1909号47頁、判タ1217号272頁〕	470
判決9	弁護士の税務の助言に係る債務不履行責任等を認めなかった事例〔東京地判平成17・6・24判タ1194号167頁〕	475
判決10	破産管財人である弁護士の管財事務上の不当利得返還義務を認めた事例〔最一小判平成18・12・21民集60巻10号3964頁、判時1961号53頁〕	479
判決11	破産管財人である弁護士の管財事務上の不当利得返還義務を認めた事例〔最一小判平成18・12・21判時1961号62頁〕	482

判決12	特別代理人に選任された弁護士の不法行為責任を認めた事例 〔岡山地判平成22・1・22判時2146号59頁〕……………	484
判決13	破産管財人である弁護士の管財事務上の善管注意義務違反を 認めた事例〔釧路地判平成23・7・13金判1395号34頁〕……………	487
判決14	特別代理人に選任された弁護士の不法行為責任を認めた事例 〔広島高岡山支判23・8・25判時2146号53頁〕……………	490
判決15	破産管財人である弁護士の管財事務上の善管注意義務違反を 認めた事例〔札幌高判平成24・2・17金判1395号28頁〕……………	491
判決16	弁護士が犯罪利用預金口座等に係る資金の被害回復分配金の 支払等に関する法律に基づく措置を求めたことによる不法行 為責任を認めなかった事例〔東京地判平成24・9・13判タ 1384号212頁〕……………	492
判決17	後見監督人である弁護士の債務不履行責任を認めた事例 〔大阪地堺支判平成25・3・14金判1417号22頁〕……………	494

5 弁護士の懲戒をめぐる裁判例

判決1	弁護士に対する懲戒請求に係る不法行為責任を認めた事例 (双方代理、守秘義務違反をめぐるトラブル)〔東京地判平成 4・3・31判時1461号99頁〕……………	500
判決2	弁護士の弁護士らに対する懲戒請求等に係る不法行為責任を 認めた事例(告訴をめぐるトラブル)〔東京地判平成5・11・ 18判タ840号143頁〕……………	504
判決3	弁護士らに対する懲戒請求に係る不法行為責任を認めた事例 (土地の明渡しをめぐるトラブル)〔東京地判平成7・12・25 判タ954号205頁〕……………	506
判決4	懲戒請求を受けた弁護士の懲戒請求人、弁護士会、綱紀委員 会委員に対する訴えを却下し、弁護士会会長等の不法行為責 任を認めなかった事例〔京都地判平成8・7・18判時1615号 102頁〕……………	508
判決5	弁護士の懲戒請求につき戒告処分をした弁護士会、懲戒委員	

	会委員長の不法行為責任を認めなかった事例〔京都地判平成 8・7・18判時1615号112頁〕……………	511
判決6	弁護士会の懲戒請求に対する議決、所属弁護士の行為に係る 不法行為責任を認めなかった事例〔横浜地判平成8・12・20 判時1609号135頁〕……………	513
判決7	弁護士の懲戒請求をした者、その代理人弁護士の不法行為責 任を認めなかった事例（報酬をめぐるトラブル）〔東京高判 平成9・9・17判タ982号216頁〕……………	515
判決8	弁護士に対する懲戒請求に係る不法行為責任を認めた事例 （利益相反をめぐるトラブル）〔名古屋地判平成13・7・11判 タ1088号213頁〕……………	518
判決9	弁護士の懲戒処分を認めた事例（法律違反等の助言をめぐる トラブル）〔東京高判平成14・3・27判時1791号49頁〕……………	520
判決10	弁護士に対する懲戒請求に係る不法行為責任を認めた事例 （質問に対する回答等をめぐるトラブル）〔神戸地判平成15・ 4・18判時1837号74頁〕……………	522
判決11	弁護士の懲戒処分を認めた事例（利益相反をめぐるトラブル） 〔東京高判平成15・4・24判時1932号80頁〕……………	523
判決12	訴訟の当事者の相手方の訴訟代理人である弁護士に対する準 備書面の作成等による名誉感情の侵害の不法行為責任を認め ず、懲戒請求の不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成17 ・2・22判タ1183号249頁〕……………	525
判決13	弁護士の懲戒処分を認めた事例（報告をめぐるトラブル）〔最 一小判平成18・9・14判時1951号39頁〕……………	527
判決14	弁護士の懲戒処分を認めた事例（職務外の行為をめぐるトラ ブル）〔東京高判平成18・9・20判タ1240号192頁〕……………	531
判決15	弁護士の懲戒請求をした者、その代理人弁護士の不法行為 責任を認めた事例（訴訟の提起をめぐるトラブル）〔最一小 判平成19・4・24民集61巻3号1102頁、判時1971号119頁、 判タ1242号107頁〕……………	534

判決16	弁護士の懲戒請求をした者の日弁連に対する業務妨害を認めた事例〔東京地判平成19・7・20判タ1269号232頁〕……………	537
判決17	懲戒された弁護士の弁護士会綱紀委員会委員に対する損害賠償請求等の訴えを却下した事例〔東京地判平成20・3・17判時2041号85頁〕……………	539
判決18	弁護士の懲戒請求をした弁護士の不法行為責任を認めなかった事例（非弁提携をめぐるトラブル）〔東京地判平成20・8・26判タ1283号157頁〕……………	541
判決19	タレントである弁護士がテレビ番組で刑事事件の弁護人らを批判し、懲戒請求を呼びかけたことにつき不法行為責任を認めた事例〔広島地判平成20・10・2判時2020号100頁〕……………	543
判決20	タレントである弁護士がテレビ番組で刑事事件の弁護人らを批判し、懲戒請求を呼びかけたことにつき不法行為責任を認めた事例〔広島高判平成21・7・2判時2114号65頁〕……………	548
判決21	弁護士の懲戒請求に係る不法行為責任を認めなかった事例（公正証書原本不実記載等をめぐるトラブル）〔東京高判平成21・7・29判時2055号66頁〕……………	550
判決22	弁護士の登録請求の進達拒絶をした弁護士会の会長の個人責任を認めなかった事例〔京都地判平成21・11・19判タ1339号94頁〕……………	553
判決23	弁護士の懲戒請求に係る不法行為責任を認めなかった事例（利益相反をめぐるトラブル）〔東京地判平成22・3・12判タ1328号147頁〕……………	554
判決24	弁護士の登録請求の進達拒絶をした弁護士会の会長の個人責任を認めなかった事例〔大阪高判平成22・5・12判タ1339号90頁〕……………	556
判決25	弁護士の懲戒請求に関与した弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成23・3・25判時2115号57頁〕……………	557
判決26	タレントである弁護士がテレビ番組で刑事事件の弁護人らを批判し、懲戒請求を呼びかけたことにつき不法行為責任を認	

	なかった事例〔最二小判平成23・7・15民集65巻5号2362 頁、判時2135号48頁〕……………	560
判決27	弁護士の懲戒処分を認めなかった事例（公正な裁判をめぐる トラブル）〔東京高判平成24・11・29判時2198号59頁〕……………	563
判決28	弁護士の懲戒処分を認めた事例（名誉毀損、プライバシーの 侵害をめぐるトラブル）〔東京高判平成25・5・8判時2200号 44頁〕……………	564
判決29	弁護士の懲戒処分を認めた事例（誠実・公正な業務遂行等を めぐるトラブル）〔東京高判平成25・9・18判時2212号26頁〕…	566
判決30	弁護士の懲戒処分を認めた事例（プライバシーの侵害をめぐ るトラブル）〔東京高判平成25・10・30判時2232号19頁〕……………	570

6 弁護士の業務全般の責任をめぐる裁判例

判決1	弁護士の報酬等の受領につき否認権の行使を認めなかった事 例〔東京地判平成9・3・25判時1621号113頁〕……………	573
判決2	弁護士の弁護士に対する週刊誌におけるコメントにつき名誉 毀損を認めなかった事例〔東京地判平成10・1・30判タ984号 219頁〕……………	575
判決3	共同法律事務所の解散・清算の事例〔東京地判平成13・12・ 26判時1864号108頁〕……………	577
判決4	会社の仮代表取締役である弁護士の不法行為責任を認めた事 例〔千葉地判平成14・3・27判タ1106号170頁〕……………	579
判決5	共同法律事務所の解散・清算の事例〔東京高判平成15・11・ 26判時1864号101頁〕……………	582
判決6	訴訟提起の際の記者会見における弁護士の名誉毀損の不法行 為責任を認めた事例〔東京地判平成17・3・14判時1893号54 頁〕……………	583
判決7	弁護士が主導して行った債権譲渡が公序良俗違反により無効 であるとした事例〔東京地判平成17・3・15判時1913号91頁〕 ……………	587

判決8	共同法律事務所の解散・清算の事例〔東京地判平成18・4・26判時1966号78頁〕……………	590
判決9	弁護士の留置権の行使を認めた事例〔東京地判平成18・7・19判時1962号116頁〕……………	593
判決10	訴訟提起の際の記者会見における弁護士の不法行為責任を認めなかった事例〔東京高判平成18・8・31判時1950号76頁〕……	595
判決11	弁護士の過誤につき弁護士賠償責任保険契約の免責を認めた事例〔大阪地判平成18・9・1金判1334号50頁〕……………	598
判決12	弁護士の開設したホームページに送信された情報につき弁護士の守秘義務違反の不法行為責任を認めた事例〔大阪地判平成18・9・27判タ1272号279頁〕……………	600
判決13	民事再生手続開始決定の申立てに参与した弁護士の資産売却に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成19・1・24判タ1247号259頁〕……………	603
判決14	弁護士の開設したホームページに送信された情報につき弁護士の守秘義務違反の不法行為責任を認めなかった事例〔大阪高判平成19・2・28判タ1272号273頁〕……………	606
判決15	弁護士がマンション紛争の関係者につき調査会社に身辺調査を依頼し、作成された調査報告書をマンションの区分所有者らに開示したことによる不法行為責任を認めた事例〔東京地判平成19・3・26判タ1252号305頁〕……………	610
判決16	弁護士の過誤につき弁護士賠償責任保険契約の免責を認めた事例〔松山地判平成19・6・25金判1334号62頁〕……………	613
判決17	弁護士の過誤につき弁護士賠償責任保険契約の免責を認めた事例〔大阪高判平成19・8・31金判1334号46頁〕……………	615
判決18	(決定) 弁護士の報酬の受領に対する否認権の行使を認めた事例〔神戸地伊丹支決平成19・11・28判時2001号88頁〕……………	616
判決19	弁護士の過誤につき弁護士賠償責任保険契約の免責を認めた事例〔高松高判平成20・1・31金判1334号54頁〕……………	619
判決20	雇用された弁護士の経営弁護士に対する報酬請求を認めた事	

	例〔東京地判平成20・12・16判時2034号46頁、判タ1303号168頁〕……………	620
判決21	弁護士の弁護士賠償責任保険契約に基づく保険金の支払請求を認めなかった事例〔東京地判平成21・1・23判タ1301号226頁〕……………	623
判決22	雇用された弁護士の経営弁護士に対する報酬請求を認めた事例〔東京高判平成21・7・30判タ1313号195頁〕……………	625
判決23	弁護士の過誤につき弁護士賠償責任保険契約の免責を認めた事例〔大阪地判平成21・10・22判タ1346号218頁〕……………	626
判決24	弁護士法人の事業協力契約上の債務不履行責任を認めた事例〔東京地判平成22・3・12判時2085号113頁〕……………	629
判決25	弁護士の弁護士賠償責任保険契約に基づく保険金の支払請求を認めた事例〔東京地判平成22・5・12判タ1331号134頁〕……………	630
判決26	弁護士の告訴、記者会見における発言等に係る不法行為責任を認めた事例〔長野地上田支判平成23・1・14判時2109号103頁〕……………	633
判決27	会社の顧問弁護士らの会社のホームページにおける記載に係る不法行為責任を認めなかった事例〔東京地判平成24・4・11判タ1386号253頁〕……………	636
判決28	弁護士らの記者会見等における発言につき名誉毀損の不法行為責任を認めなかった事例〔広島地判平成24・5・23判時2166号92頁〕……………	638
判決29	弁護士報酬の一部が暴利行為にあたり無効とした事例〔東京地判平成25・9・11判時2219号73頁〕……………	641
判決30	弁護士法人におけるパワハラを認めた事例〔東京地判平成27・1・13判時2255号90頁〕……………	643

7 弁護士をめぐるその他の裁判例

判決1	弁護士の受任した税務につき、弁護士の死後、その手伝いをしてきた子が処理したときの原状回復義務を認めた事例〔東
-----	--------------------------------------------------------

	京地判平成元・12・25判時1361号72頁] ……………	645
判決2	弁護士に対する名誉毀損を認めた事例〔大阪地判平成4・10 ・23判時1474号108頁〕……………	647
判決3	弁護士による顧問弁護士に関する解任通知に係る名誉毀損を 認めなかった事例〔東京地判平成5・5・25判時1492号107 頁〕……………	648
判決4	弁護士と司法書士会の紛争につき双方の名誉毀損を認めた事 例〔浦和地判平成6・5・13判時1501号52頁〕……………	651
判決5	弁護士と司法書士会の紛争につき双方の名誉毀損を認めた事 例〔東京高判平成7・11・29判時1557号52頁〕……………	654
判決6	(決定) 弁護士の破産を認めた事例〔東京高決平成12・3・ 2判タ1054号223頁〕……………	655
判決7	裁判官の弁護士に対する名誉毀損を認めた事例〔前橋地判平 成15・7・25判時1840号33頁〕……………	657
判決8	書籍による弁護士に対する名誉毀損を認めた事例〔東京地判 平成15・12・17判タ1176号234頁〕……………	660
判決9	月刊誌による弁護士に対する名誉毀損を認めなかった事例 〔東京地判平成16・2・10判時1860号86頁〕……………	661
判決10	裁判官の弁護士に対する名誉毀損を認めなかった事例〔東京 高判平成16・2・25判時1856号99頁〕……………	663
判決11	月刊誌による弁護士に対する名誉毀損を認めた事例〔東京 地判平成16・4・22判時1864号114頁〕……………	666
判決12	相手方当事者の答弁書による弁護士に対する名誉毀損を認め た事例〔京都地判平成18・8・31判タ1224号274頁〕……………	668
判決13	弁護士に対するプライバシーの侵害、名誉毀損を認めなかつ た事例〔東京地判平成18・9・7判時1970号56頁〕……………	671
判決14	弁護士の不正につき弁護士会、日弁連の不法行為責任等を認 めなかった事例〔奈良地判平成20・11・19判時2029号100頁〕…	673
判決15	弁護士法人の主張に係る不法行為を認めなかった事例〔東京 地判平成21・2・19判時2059号72頁〕……………	676

目 次

判決16 (決定) 債権回収を受任した弁護士の債権譲渡が公序良俗に反するとはいえないとした事例〔最一小決平成21・8・12民集63巻6号1406頁、判時2059号61頁〕……………	678
判決17 共同法律事務所における弁護士間の紛争の事例〔東京地判平成22・3・29判時2099号49頁〕……………	679
判決18 会社を経営する高齢者が会社の顧問弁護士に全財産を遺贈する遺言を無効とした事例〔京都地判平成25・4・11判時2192号92頁〕……………	682
判決19 顧問契約が弁護士法72条に違反し、公序良俗に反して無効とした事例〔東京地判平成25・8・26判時2222号63頁〕……………	685
判決20 成年後見人である弁護士に対する名誉毀損、業務妨害の不法行為を認めた事例〔東京地判平成26・7・9判時2236号119頁〕……………	687
判決21 未成年後見人を監督する家事審判官の過失を認めた事例〔宮崎地判平成26・10・15判時2247号92頁〕……………	690
判決22 顧問契約が弁護士法72条に違反し、公序良俗に反して無効とした事例〔東京地判平成27・1・19判時2257号65頁〕……………	693
・判例索引……………	695
・著者略歴……………	705